

令和4年度

学校関係者評価報告書

令和5年 3月22日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和4年度の学校運営や教育活動等につきましても、実施要項に基づき評価し、その結果を報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和5年3月20日に第2回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和5年 3月22日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局次長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 令和5年 3月20日 (月) 14:00～15:00

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和4年度自己点検・評価報告
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 川端委員長挨拶

入学者の減少により学校経営は厳しい状況にあるが、教育活動や学生募集に係る取組等、本校職員は尽力している。外部の委員としても、学校経営の改善に資する積極的な意見、アドバイスを提示していきたい。

2) 事務局（学校長）挨拶

謝辞及び時候の挨拶（感染症関連含む）。厳しい学校運営の状況の中、委員の皆様にご意見ご助言をいただき、教育内容等の改善が見られる。本校の認知度を高める手立て等、更なるご意見やご支援をいただきたい。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 令和4年度自己点検・評価実績報告（別添） <事務局：教務部長>
令和5年度自己点検・評価要項（別添） //

(2) 令和4年度自己点検・評価報告（別添） <事務局：学校長>
※10項目及び各評価項目について、課題及び改善策等、一部詳細の説明を含め報告

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載

(1) 項目2：川端委員、牧野委員、井畑委員

- ・嘱託職員の勤務体制の見直しについて（具体的内容等）
→ 事務局：勤務時間を正職と同様にし、学校運営（校務分掌含む）や募集活動、休暇取得等に影響がないようにしたい。
- ・同一労働同一賃金、土曜休日出勤等労働条件について考慮する必要がある。
- ・土曜出勤が必要な理由、eラーニング等の活用はできないか
→ 事務局：コロナ禍、オンライン授業もあったが、各科教授内容の特性等から対面授業が主であり、非常勤講師の都合もある。

(2) 項目3：川端委員、牧野委員

- ・⑥の状況について
→ 事務局：他の業務を優先、手が回らない、個別の申し出に対し支援している。宮医管ウィークを兼ね研修としても実施した。

(3) 項目4 : 川端委員、牧野委員、坂口委員

- ・退学の状況、理由について
 - 事務局 : 人間関係の影響もあるのでは。通信制(高校)やAO入試とも関連し、入学前の学生の状況が把握しにくい。
- ・入学後のオリエンテーション時に、クラス内での関係づくり(仲間作り)につながる、リセットできる機会を設けては。
- ・8名の退学は大きい。高校との連携も含め、宮医管に行けば何とかなるといった体制づくりができないか。
 - 事務局 : 学びに対する意欲づけのため、実習前に子どもと楽しむ、現場を知る等の機会を多く設け、モチベーションを高め、学業継続につなげたい。ジェンダーやLGBT等、今後とも人権関連にも留意していきたい。

(4) 項目5、項目6 : 牧野委員、井畑委員、川端委員

- ・卒業生の支援に関連し、他の職員を含めリカレント教育を実施しては。
 - 事務局 : 科目履修生制度はあるが、受講者なし。
- ・ネット環境(PC、Wi-Fi等)はどうか
 - 事務局 : 各教室Wi-Fi設置、PCを貸与し、オンライン授業や情報伝達等で活用している。
- ・防災訓練の状況について
 - 事務局 : コロナ禍での制限もあったが、関連機関と連携し、規定により実施している。
- ・就労前のインターンシップや研修、アルバイト(医療機関等)の機会を持てるようにすることも大切。現場としても積極的に受け入れたい。

(5) 項目7、項目8、項目10 : 各委員

※学生募集、認知度向上と関連付けての提案等

- ・SDGsに関する取組について、学生の活動として教育に取り入れては。
- ・特別講座(→社会貢献)で本校の認知度を高める。発信について工夫する。
- ・効果的なPRについて他を参考(事例提示)、CMの時間帯も重要。
- ・体験入学、選択の状況をふまえ、保護者の意向も大きい。生徒自身で決める手立てを講じる。例えば、専門性を強調、卒後のイメージを持たせる(先を見せる)等

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や意見、第2部(教育課程編成委員会)をふまえ、教育内容の改善や効果的な募集活動に活かしていただきたい。

※[教育理念・教育目標][法令等の遵守]について直接的な意見等なかったが、教育課程編成委員会で取り上げられた内容もあり、関連づけて評価できる。

以上